

Ⅱ 研究の構成および目的

本調査研究は、「視覚障害学生が学修に必要な I T 技術に関する指導に関する調査（研究 1）」および、「大学で支援を受けている障害学生の支援ニーズと支援の実際に関する調査（研究 2）」から構成され、以下の点を目的とした。

研究 1 視覚障害学生が学修に必要な I T 技術に関する指導に関する調査

視覚障害学生が大学で学修するために不可欠な I T 技術について、高校段階での指導と大学での指導の実態と先進的指導事例を調査し、高等学校から大学へと階層性・連続性のある指導・支援を行うための基礎的資料を得ることを目的とした。

研究 2 大学で支援を受けている障害学生の支援ニーズと支援の実際に関する調査

視覚障害・聴覚障害学生・運動障害学生を対象に障害学生自身が感じている支援ニーズに関する実態調査を行うとともに、運動障害学生に対しては高校生・大学生に対して用いることのできる評価ツールを開発し大学入学直後からの支援を円滑に準備する方法を検討する。それにより、高等学校段階から大学へと階層性・連続性のある障害学生支援の構築と、よりよい移行支援を行うための基礎的資料を得ることを目的とした。